

令和元年11月6日

文教厚生常任委員会 委員長報告

文教厚生常任委員会の所管する部署は、保健福祉部・子どもあ
しん部・教育委員会です。

【委員の紹介】

写真の上段左側から

齊藤克己委員、松永靖恵委員、小嶋智子委員、待鳥美光委員、
赤松祐造委員、富澤勝広委員、伊藤妙子委員、

写真の下段左側から

安保友博委員長、熊谷二郎副委員長

以上9名



本委員会に付託された案件は、次の通り、議案9件です。

	件 名	表決の状況
議案第 47 号	子ども・子育て支援法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例を定めることについて	賛成多数
議案第 51 号	令和元年度埼玉県和光市一般会計補正予算（第3号）〔歳入、歳出の民生費・教育費〕	全会一致
議案第 52 号	令和元年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致
議案第 53 号	令和元年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全会一致
議案第 54 号	令和元年度埼玉県和光市介護保険特別会計補正予算（第2号）	全会一致
議案第 57 号	平成 30 年度埼玉県和光市一般会計歳入歳出決算の認定について〔歳入、歳出の民生費・衛生費のうち保健衛生費・教育費〕	全会一致
議案第 58 号	平成 30 年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致
議案第 59 号	平成 30 年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数
議案第 60 号	平成 30 年度埼玉県和光市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致

【本日の報告】

本日は、文教厚生常任委員会に付託された議案のうち、平成30年度の決算審査の中から質疑と答弁をいくつかご紹介して、委員会の報告とさせていただきます。

●議案第57号 平成30年度 埼玉県和光市 一般会計 歳入歳出決算

【民生費①】～社会福祉総務費～

主な質疑と答弁

質問 統合型地域包括支援センターができたことで、地域包括ケア全体にどのような成果があったか伺う。



答弁 平成30年からモデル事業として中央圏域においてスタートした事業ですが、これまでばらばらにあった生活困窮、高齢、障がい、子供の各センターを1ヶ所に統合して運営することでワンストップで対応ができるようになりました。これまでも他のセンターと協力しながらやっていましたが、1ヶ所で対応することで迅速かつ適切な対応が取れるようになったという成果が上がっています。

【民生費②】～社会福祉費、後期高齢者医療費～

主な質疑と答弁

質問 栄養と口腔の専門職訪問相談の成果を伺う。

答弁 101件のプランを作成し、うち栄養のケアプランを作成した方は70人で、そのうち、改善した方が34人で48.6%、口腔については、プランを作成した方が31人で、改善した方が14人、45.2%の改善率でした。モデル事業としてやってきた3年間の目標設定も、25%以上の改善率を目指すということで目標の設定をしていますので、目標を超えた成果があったと考えています。

【民生費③】～児童措置費～

主な質疑と答弁

質問 医療費扶助について、前年比較では受給者数は増えていないように思われる。当初予算ではその見込みの上で予算計上していると思うが、今回の決算では約216万円を他から流用している理由について伺う。

答弁 実績を踏まえた予算計上をしています。インフルエンザ等の感染の流行などにより医療費は変わってきますので、今回は実態に即して予算の流用をしました。



【民生費④】～生活保護費～

主な質疑と答弁

質問 和光市における生活保護の不正受給の是正への取り組みを伺う。

答弁 生活保護の世帯においては収入申告を行ってもらっています。制度趣旨を理解できず収入申告の漏れがある場合もあるので、家庭状況の調査を行い、資産が発覚した場合には返還をお願いしています。生活保護法78条に基づく徴収金としての返還は47件ありました。

【教育費①】～教育振興費～

主な質疑と答弁

質問 学校での年間の事故による保険金申請件数を伺う。

答弁 平成30年度小学校248件、中学校143件、合計391件です。小・中学校ともに体育の授業でのケースもありますが、小学校で多いのは休み時間のけがです。走ってぶつかった、転んだ、そういうものが多くなっており、中学校につきましては部活動中のけがが多くなっており、これは同じく打撲ですとか捻挫ですとか、そういったケースになります。

【教育費②】～教育振興費～

主な質疑と答弁

質問 学校生活支援員は31人で現状足りているのか伺う。

答弁 現時点では、各校からの申請に基づく数に関しては概ね配置されている状況です。若干余裕があるので今後希望があればさらなる配置について考えていきたいと思っています。

【教育費③】～小学校費～

主な質疑と答弁

質問 小学校の不登校の要因について、福祉分野とどのような形で連携をしているのか伺う。

答弁 保健福祉部、あるいは児童相談所とも連携をして相談をしながら進める体制をとっています。また、スクールソーシャルワーカーが家庭を訪問し、学校と連携をとりながら対応しているケースはあります。福祉との連携という点では、課題のあるお子さんに対して、学校教育課と地域包括ケア課で連携が必要な場合は、ケース会議を随時行っているなかで協議した内容を学校教育課、学校関係者で共有し、もう一度フィードバックしながら確認する体制をとっています。

【教育費④】～保健体育総務費～

主な質疑と答弁

質問 総合体育館の利用者数は増加しているのか、また、アンケートなどはとっているか伺う。



答弁 利用人数は、年々微増ですが増加傾向です。指定管理者が利用者アンケートをとったり、利用者からの苦情等の受付をしたりしていますので、そういった情報をスポーツ青少年課とも情報共有をしながら改善を進めています。

●議案第58号 平成30年度 埼玉県和光市 国民健康保険特別会計歳入歳出決算

主な質疑と答弁

質問 ジェネリック医薬品差額通知について、対象の数と年間医療費の削減について伺う。

答弁 発送は年2回で、対象の件数は1523件です。これによる効果としては、約448万6000円ほど削減できたと推計しています。

●議案60号 平成30年度 埼玉県和光市 介護保険特別会計 歳入歳出決算

主な質疑と答弁

質問 介護サービスについて、施設サービス利用者が見込みより減少したということで、在宅サービスへの移行が進んだ理由を伺う。

答弁 地域包括ケアシステムの中で介護予防を推進していく中で、施設ではなく地域で安心して生き生きと暮らしていけるような施策をこれまで続けてきた結果と捉えています。

以上 ご報告致しましたが審査の主な内容と採決の結果の詳細については、委員会記録をご参照ください。